

## 神話と現実の谷間

今までのべてきた、アナキスト運動を要約するなら、歴史の片隅でつづけられてきた、一握りの暴力と理想の探求だといえよう。彼らの思想は、あまりにバラバラであり、政治的圧力になるには、あまりに断片的であった。言葉と行動による宣伝活動にしても、ふたつはなかなか歩調を合わせることはできなかった。

ピーター・クロボトキン、セバスチャン・フォール、エマ・ゴールドマンなどの人道的アナキスト指導者も、一般市民がいだきつづけたアナキストのイメージ——ラバコールや暗殺者とその暴力——を塗りかえるほどの運動を引き起こすことはできなかった。歴史家も暴力を越えた、これらの指導者とその思想の存在を認めると同時に、アナキズムが一般市民に与えてきたイメージは「暴力」であることも否定できない。

しかし、アナルコ・サンジカリズムについては、別の結論を引き出さなければならぬ。アナキズムの、妥協を許さない理想主義が、労働組合のなかで生かされた、このアナルコ・サンジカリズムは、労働史の中でも重要な位置を占めるようになった。ゼネストにかけた希望も、結局は満たされないものであったが、この精神はフランス

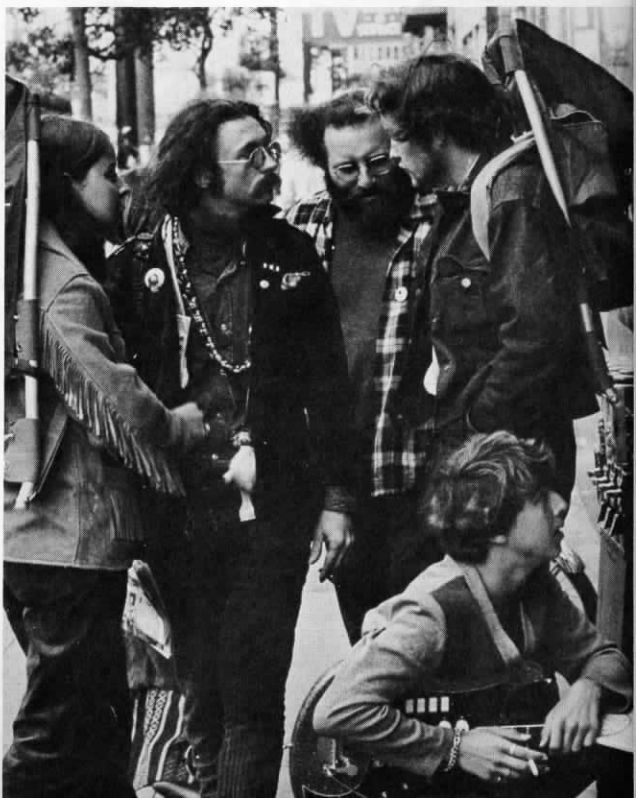
で、次いでスペインでと、根強く生きつづけた。しかし、今日、彼らの失敗や成功を振り返ってみると、このアナルコ・サンジカリズムも歴史のほんの片隅にしか存在していなかったことがわかる。

二〇世紀の革命は社会主義、共産主義、国家主義、ファシズムのもとで行なわれたものであり、決してアナキズムによるものではなかった。

アナキストはもうひとつ、歴史的に大切な役割を果たしている。彼らは痛烈な社会批判をした。——スペインでは政府と教会による圧制政治に対して、ロシアでは皇帝

左 数々の革命は失敗に終わったが、アナキスト精神は、現在もなお生き残っている。写真は、一九六八年、フランスでの五月革命のもよう。この革命でもアナキスト的學生が、そのリーダーとなっていた。





による独裁的君主政治に対して、フランス、イタリヤ、アメリカでは、ブルジョアの偽善と労働者階級の貧困に対して——そして町では企業の搾取およびスラム街の貧困と戦い、農村では、地主の圧力と土地の不平等な分配に対して戦いつづけた。

ここでは、これらはみな彼らの足元から出てきた問題であることに注目したい。彼らが「監獄」の話をするとき、一回は牢獄生活を味わっていたし、教会と政府の権力をのしるとき、多くは、その被害者であった。道徳的偏見について声をはりあげるとき、検閲と道徳的虐待の意味を知っていた。つまり、彼らのもっとも確実な個人的体験をもとに行動していたのであり、そのために彼らの書物や発言は歴史の重要な資料でもある。彼らは、ほとんどが下層階級の一員であったが、その階級社会を理解し

ようとするとき、アナキストの活動と観察は無視できない手がかりとなるのである。

それ以上に大切なポイントは、アナキズムの仮定、希望、そして理想は、ほかの社会変革者とは、だいぶ異なっていた点である。社会主義者は、アナキストが、現実の経済的問題や、労働者階級の歴史的役割を無視していると非難した。自由主義者は、現実的な考え方でないと非難した。そして保守的な人たちは、アナキストが人間の支配者を必要とする本能を無視しているとして非難した。

アナキストたちはこうしたユートピア的理想主義だという非難に対して、弁明もしていたのだが、二〇世紀にはいると、心理学は人間には闘争本能に加え、安心を求める本能もあることを解いた。また社会学は集団の中では、すぐに指導者を選出する人

左 現代社会の停滞に抗議して、一九六九年、ロンドンで、若者たちがビルを占領した。右上は、その街頭デモ。右下 西欧社会の因習や既成価値を拒否する者たち。

間の性質について観察した。そして支配力のない集団においては、その団結も弱まることも研究された。たしかに、人間はある種の自由を必要とする。——行動の自由、思想と言論の自由——。しかし、人間は完全な自由を求めているのであろうか？ 多くの学者によると答は「ノー」であり、ほかならぬアナキズムの失敗はそれを実証しているのである。

そして、アナキズムの理想は、あらゆる時代、あらゆる階級のあいだでつねに少数派であった。いちばん権力の問題に興味を持った青年層のあいだでも、信頼は多くなかった。たしかに、アナキストの中には若

い学生は多かったが、社会主義団体の中にも多かつたし、国家主義者、あるいは宗教関係の団体にはそれ以上に多かつたのである。

アナキストたちは、現在よりもつねに未来をみつめていた。いつか人間は、本当に自由になる、そして権力も支配も無い理想社会が訪れることを確信していた。この確信は「神話的」ともいべきものである。しかし、この「神話的」という言葉を使つたとき、二〇世紀のフランスの哲学者ジョルジュ・ソールの言葉を思い出す。

「未来にむけられた神話は行動へのインスピレーションであり、行動へとかりたてるものだ」

つまり、アナキストの神話は、過去のものではなく、未来のものであり、それが彼らを引っばつていく原動力となつたのである。

る。つねに、「革命の光」を見失わないための、目標としての神話であつた。そして、彼らは予言し、いくつものキャンペーンを行ない、ほかを殺し、みずからも死んでいった。

アナキストばかりでなく、ヨーロッパの歴史にはこのような未来にむけられた神話がいくつもあつた。キリスト教も、マルクス主義も同様に、未来を啓示する神話によつて導かれていった。

キリスト教は神の国を現世にみることであり、マルクス主義は無階級社会であり、アナキズムの場合は、自由で平等な人間像である。

一見、異質なものにみえる、この三者もじつは同じ理想の変形である。だからこそこの三者は過去の失敗にもめげず、未来的神話のなかに生きつづけているのである。

その意味では、キリスト教やマルクス主義と同様、アナキズムの場合も、その具体的結論を引き出すことは、未だ、早すぎるのである。

しかし、ここにのべてきた、一八八〇—一九一四年の間にあらわれたアナキストについていうなら、彼らはその神話へ一歩も近づけなかつたといえるのである。

左 中国の紅衛兵。現代のもっとも活動的で、徹底した革命においてさえも、固定概念を拒否し、完全に社会全体を作りかえるという情熱を燃やしつつけることが必要なのである。

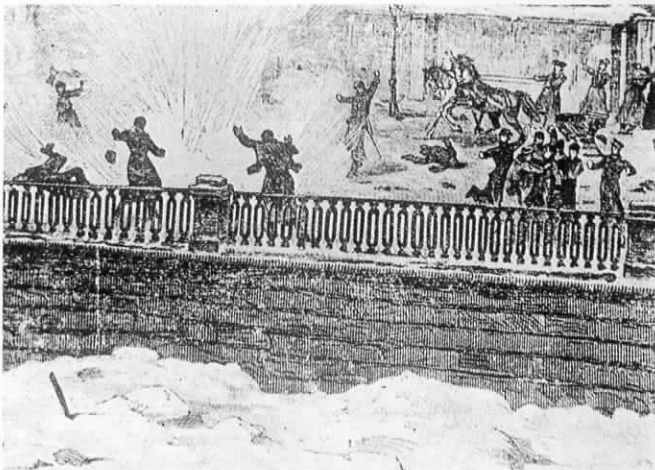




年 表

- 1864 マルクス、第1回、国際労働者協議会を、ロンドンのセント・マーチン・ホールで開催。第1インター発足。
- 1865 イタリアでは、バクーニンがフィレンツェ同胞団を組織。
- 1868 アナキズムの父、P.J. ブルードン死去。
- 1868 第1インター、ブルッセル大会。
- 9月、バクーニン、国際社会民主同盟を結成。
- 1869 9月、第1インター、バービル大会。
- 1871 8月、バクーニンの影響下に、ジコラ連合が、J. ギョームの指導で結成される。
- 1876 1月、バクーニン死去。
- クロボトキン、セント・ペテルスブルグの牢から逃げ、ヨーロッパへ亡命。
- 1882 10月22日、リヨンのベルクール劇場に、爆弾が仕込まれた件で、Cygvoigt 終身刑。
- 1886 5月4日、アメリカのシカゴでヘイマーケット事件起きる。
- 1892 エマ・ゴールドマンが、H.C. フリックの暗殺未遂で起訴されたアレクサンダー・バークマンを支持表明。
- 3月、ラバコールの爆弾、ブルバールのセント・ジャーマン(11日)とクリシー街(27日)で爆発。
- 4月25日、ラバコールの裁判中、彼を密告したレストランの店主が店とともに爆殺される。ラバコール死刑。
- 1893 9月24日、バルセロナでパラスが、カンボスに爆弾を投げつけて殺す。パラス処刑。
- 11月8日、パラスの復しゅうとして、サンチャゴ・サルバドールが、リセオ劇場に爆弾を投げ込む。
- 12月9日、ペーランは、フランス下院に爆弾を投入。ペーラン処刑。
- 12月11日、アナキスト・テロの対策として、刑法改定。
- 1894 2月12日、パリのテルミナ・セント・ラザールに爆弾が投げ込まれる。犯人エミール・アンリ。アンリ処刑。
- 6月24日、カルノ大統領、リオでイタリアのアナキスト、ジェロニモ・カセイロによって暗殺される。
- 1895 ベルギー、プルス連合の書記となり、リモージェでC.G.T.を設立。
- 1897 スペインの首相、カノバス・デル・カスティージョ狙撃される。犯人アンジェリロ。
- 1898 オーストリアのエリザベス皇后、ジュネーブの湖畔で、イタリアのアナキストに暗殺される。
- 1900 7月、イタリアの国王ウンベルト1世、モンザで暗殺される。犯人はプレスチ。
- 1906 C.G.T. アミアン大会。サンジカリスト理論を再確認したアミアン憲章を出す。
- 1907 アナキスト・アムステルダム会議で、モナッテとマラテスタが、アナキズムとサンジカリズムとの結合について論争。
- 1909 7月、バルセロナの“悲劇の一週間”
- 10月13日、“近代学校”の創立者、F. フェレル、7月の暴動の責任を問われて処刑さる。
- 1912 11月12日、スペインの首相、カナジアス・イ・メンデ、マドリッドで、アナキストの手により暗殺さる。

写真 左上 フランス・アナキズムのリーダー、ピエール・ラムス。左中 スペイン内乱中の軍事訓練。下 カリフォルニア・ヒッピー。中央上 クロボトキンの著書“新しい時代”の表紙。中 “L'Almanach de Pere Renard”から、労働者の苦しみを訴える絵。下 “Ubu Roi”のポスター。右上 パリ・コンミュニョンのバリケード。中 ロシア皇帝アレクサンダー二世の暗殺。下 映画“黄金の時代”の一場面。



サン・ラザール駅 the Gare st. Lazare	40
シニャック Paul Signac	113
シビル・ガード Civil Guard	26
ジャコブ Marius Jacod	102
ジャバル Paraf Javal	17, 101
ジョウ George Bernard Shaw	52
シュミット Johann Caspar Schmidt	17
シュワップ Michael Schwab	6, 37
GCL Confederation Generale du Travail	78
CGT General Confedration of Labour	77
自由教育連盟	88
「社会主義と人間の魂」 The Soul of Man under Socialism	113
スティルナー Max Stirner	17
スパイス August Spies	20
スピーズ Spies	37
スペインの内戦 Spanish Civil War	70
全国労働連合 Confederacion Nacional del Trabajo(CNT)	70
ソクラテス Socrates	20
ゾール Georges Sorel	120

ーダ 行ー

ダーウィン Darwin	10
チャーチル Winston Churchill	93
ツオルゴス Leon Czolgoz	43
テアトロ・リセオ Teatro Liceo	38
ドーデ Alphonse Daudet	113
トルストイ Leo Tolstoy	93, 94, 98, 101, 110
ドルチィ Durruti	74
トロツキー Trotsky	80
ドンゲン Van Dongen	113

ーナ 行ー

ニーブ Neebe	37
-----------	----

ーハ 行ー

バクーニン Michael Bakunin	6, 8, 27, 29, 38, 49, 55, 62, 64
パーソンズ Albert Parsons	37
パラス Paulino Pallas	38, 47, 51
パリ・コンミュン Paris Commune	47, 56, 58, 102, 110
バルセロナの反乱 Barcelona Rising	64
「パンと自由」 Khleb i Volia	55, 78
ピサロ Camille Pissarro	110
ビスマルク Bismarck	92
ビゴ Jean Vigo	114
悲劇の週間 emana Trágica	69
フィールデン Samuel Fielden	31, 37
フィッシャー Fischer	37
フェレル Francisco Ferrer	69, 70, 84, 87, 90, 98, 109
フォール Sebastian Faure	55, 58, 90, 98, 109, 116
フス Huss	20
ブラック・インターナショナル Black International	34, 44
ブラック・ガード Black Guards	79
ブリジャンク Matrena Prisiazhniuk	51
ブルス連盟 Bourses du Travail	60, 92
ブルードン Pierre Joseph Proudhon	8, 56, 113
ブルーノ Giordano Bruno	20

ブレスチ Gaetano Bresci	40
ブレスト・リトウスク条約 The Trat-Litovsk	80
ブレハノフ Georgii Plekhanov	78
「ふたつの世界の労働者」 L'Ouvrier des Deux Mondes	92
「ふたつの世界の評論」 Revue des Deux Mondes	92
ハイマーケット Haymarket	34
バイルアッシ Bailhache	32
ベーラン Auguste Vaillant	38, 46, 51
ペルーティエ Fernand Pelloutier	58, 60, 90, 92
ヘレスの反乱 The march on Jerez	26, 58
ホブズ Thomas Hobbes	47
ボノ Bonnet	44
ボルシェビキ Bolshevik	79, 80, 82

ーマ 行ー

マウラ Antonio Maura	64, 69
マクノ Nestor Makhno	80, 82
マッキンレー Mckinley	40, 105
「マニフェスト」 Manifesto	49
マラテスタ Errico Malatesta	29, 31, 33, 38, 58, 62, 70, 74, 77, 93
マラルメ Mallarmé	113
マルモール Marrid del Marmol	88
無権力同盟 Beznachalie	43
モナット Pierre Monatte	62, 64
モントセニ Frederica Montseny	74

ーヤ 行ー

USI Union Sindicate Italiana	77
------------------------------	----

ーラ 行ー

ラバコール Ravachol	23, 24, 26, 37, 38, 44, 47, 49, 51, 52, 116
リード Herbert Read	31
リベルタ Albert Libertad	110
リング Lingg	37
「ル・ドラボ・ノワール」 Le Drapeau Noir	34
ルケニ Luigi Luccheni	26
ルシエン Ernest Luccien	102
ルソー Jean Jeack Roussau	87
ルーズベルト Theodore Roosevelt	12
「レ・マタン」 Le Matin	40
レクルス Elisée Reclus	55
レーニン Lenin	78, 79
レブラン Albert Lebrun	32
レルー Alejandro Lerroux	64
ロシア革命 Russian Revolution	70
ロッカー Rudolf Rocker	92, 93
ロビン Paul Robin	87, 88, 90
ロレンツォ Anselmo Lorenzo	64
ロンブロソ Cesare Lombroso	23, 24, 47
労働交換連盟 Fédération des Bourses du Travail	60

ーワ 行ー

ワイルド Oscar Wilde	113
ワグナー Wagner	6



著者 ローデリック・ケドワード  
 サセックス大学講師。ヨーロッパ  
 史専攻。著書に「ドレフェース事  
 件」(1965年)、「西欧におけるファ  
 シズム」(1969年)らがある。とく  
 に「フランス・レジスタンス」に  
 関する研究が認められている。

### アナキストたち

昭和47年6月10日 印刷  
 昭和47年6月20日 発行

翻訳者 ロバート・アレキサ  
 ンダー2世(F.I.A.)

発行者 田中博之  
 発行所 鷺鶴書房

東京都千代田区富士見2-12-2  
 電話 東京(03)265-4781(代表)

印刷所 凸版印刷株式会社  
 製本所 凸版製本株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします  
 1320-07001-4815

The Anarchists — Library of  
 the 20th Century by BPC Unit75  
 Copyright © 1971 CPFitz Gerald  
 © 1972 Tsurushobo

## 索引

### —ア 行—

アナルコ・サンジカリズム Anarecho Syndicaism	58, 60, 62, 116
アルフォンソ13世 Alfonso XIII	64, 69
アルマン Emile Armand	102, 104, 105, 109
アレクサンドル2世 Alexander II	34
アンコナ Ancona	77
アンジェリーロ Michele Angiolillo	40
アンダーソン Margaret Anderson	106
アンリ Emile Henry	40, 47, 49, 51, 56
I.W.W. Industrial Workers of the World	78
赤い週間 Red Week	77
イブセン Henrik Ibsen	114
ウンベルト Umberto	40
エドワード7世 Edward VII	4
エンゲル Engel	37
オデッサ Odessa	43

### —カ 行—

カステーロ Cánovas del Castillo	40
カセリオ Jeronimo Caserio	31, 40
カタロニア地方	64, 66
カフィエロ Carlo Cafiero	29
カフェ・テルミナス Café Terminus	40, 56
カポネ Al Capone	44
ガリレオ Galileo	20
カルノー Carnot	20
カルメール Charles Calmeilles	27
ガンジー Gandhi	98
カンボス Campos	38
改革主義的労働組合 (C.G.L.)	77
キリスト Christ	20
ギョーム James Guillaume	8
技芸学校 Polytechnic Academy	88
近代学校 Escuela Moderna	69, 88
クーゲル Marie Kugel	104
クリミア戦争 the Crimean War	93
グラープ Jean Grave	55, 113
クロボトキン Peter Kropotkin	10, 17, 29, 31, 32, 38, 52, 55, 78, 105, 113, 116
ケニングスタイン Francois Königstein	23
ケレンスキー Aleksander Kerenskii	79
ゴールドマン Emma Goldman	43, 82, 87, 105, 106, 109, 115, 116
個人主義アナキスト	84
国際アナキスト会議	60
黒旗団 Chernoe Zhania	29, 43

### —サ 行—

ザ・アナキスト The Anarchist	47
サージ Victor Serge	82, 109
サルバドル Santiago Salvador	38
サンガー Margaret Sanger	14
サンジカリズム Syndicalism	15, 17